

# 元祖 モリモリ書店

令和2年度 愛知教育大学附属岡崎中学校 読書日より

韓ドラ『サイコタリ』がヒストリアの、  
やっぱりおもしろいぞやね。

第70話 R03.01.19(火)  
「知識と経験に  
無駄なものはない。」

★今回、紹介する本は、『魔女をまもる』上・中・下巻（著/榎えびし、出版/朝日新聞出版）です。

16世紀のヨーロッパを舞台に、実在した医師のヨーハン・ヴァイヤーが主人公のマンガを紹介。

「魔女狩り」が横行し、「黒死病」で人々が苦しめられ、「人狼」「悪魔」などの非現実的なものが信じられていた時代の中で、医師ヨーハンは、あくまで医学的な観点からさまざまものを見つめ、人々を救おうと奮闘していくストーリー。

現在では、精神の病、うつ病などとして診断されるものも、この時代は、「悪魔がとりついた」などと言われ、大衆心理によって、すぐに標的にされ、迫害を受ける。でも、これは決して、この時代のことだけに限らず、今の世の中だって、自分たちの理解できないことに対して偏見を抱いたり、マイノリティを傷つけたりすることは往々としてあること。考えさせられます。



絵がとっても美しくてよいです。



「見えなからた。知らないから怖いのだ。知ることとためらうな。」

集(心理)の  
おそいさ...

医学もついで真実を  
みよとす男の話

無意識は (p.47)  
でも誰かを傷つけない  
ように。

理解のできないものから  
目を背けるなよ。」 (p.200)